



平成 19 年度 画像保存セミナー

日本写真学会の画像保存研究会では、次世代に伝えるべき記録や芸術作品としての写真画像、また他の画像記録物の確実な保存を目指し、その知識の普及と技術の確立のため、昭和 59 年より写真の保存・修復に関するセミナー・シンポジウムを主催する等の活動を開始し、本年度開催で 24 回目を数えることになりました。セミナー開始以来現在まで、写真の記録的、芸術的価値はさらに広く一般に認識されるようになりました。それにともない画像保存に対する意識も様々な分野で高まってまいりました。

一方、近年の画像記録・形成技術の発展は目覚しく、撮影という一次記録がデジタルプロセスによって行なわれることは、普通のことになりました。このような状況において、私たちが保存し、後世に伝えていくべき画像は、19 世紀の歴史的写真から最新の技術による記録まで広範囲にわたっています。

今回のセミナーの内容は、文化財としての写真、博物館における展示照明のデザイン、写真美術館における作品保存、インクジェットプリントの画質と保存性能、デジタル写真プリント材料の保存性試験方法と規格、磁気テープへのデジタルデータの保管、文書の電子化と保存等、興味深いものが多数含まれています。

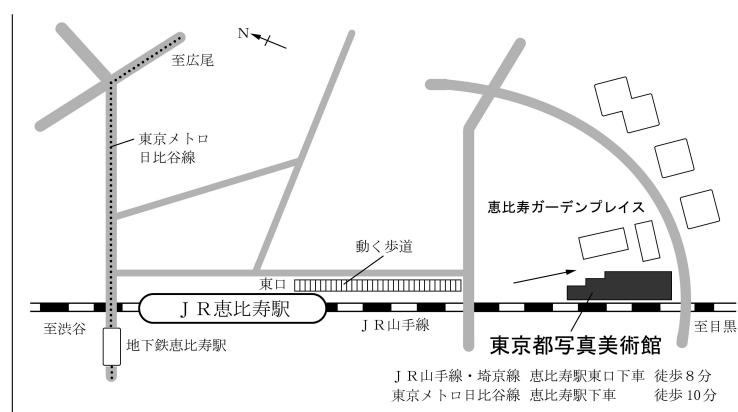
会場は、東京都写真美術館ホールです。例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂けるよう懇親会も設けました。画像保存に関心のある方、関係分野の多くの方々のご参加を頂きますよう、ご案内申し上げます。

日時：平成 19 年 11 月 2 日（金）

午前 9 時 50 分 ~ 午後 5 時（午前 9 時 30 分 受付開始）

場所：東京都写真美術館ホール

東京都目黒区三田 1 - 13 - 3 恵比寿ガーデンプレイス内



主催 社団法人 日本写真学会
協賛 日本写真芸術学会
文化財保存修復学会
財団法人 日本博物館協会

セミナープログラム

- 9:30 受付開始
- 9:50 開会挨拶 セミナー実行委員長
- 10:00 講演 1 . 文化財としての写真
東京都写真美術館 事業企画課 金子隆一
- 10:45 島津斉彬の銀板写真が 1999 年に指定されてから、本年までに 11 件の写真資料が重要文化財に指定されてきている。審議員として指定作業に関わる中で見えてきた「文化財としての写真」という位相がはらむ問題点を、経験的にお話してゆきたいと考えている。
- 10:45 講演 2 . 東京国立博物館の展示デザイン - 見やすい展示・居心地のよい展示室のために -
東京国立博物館 事業部事業企画課デザイン室 木下史青
- 11:30 東京国立博物館の展示デザインは、1.見やすさ 2.わかりやすさ 3.居心地のよさを基本に空間づくりをおこなっている。その決め手となる「展示照明のデザイン」について、今回は照度制限など光に対して脆弱と思われる「浮世絵版画」等の展示事例を紹介する。
- 休憩 (10 分) -
- 11:40 講演 3 . 東京都写真美術館における作品保存について
東京都写真美術館 事業企画課 山口孝子
- 12:25 東京都写真美術館では、作品保存のために日々、収蔵庫環境の改善と管理に努めている。当館が取り組んでいる、温湿度管理、空気質、虫菌への対応、写真包装材料や、展示に関わる作品技法ごとの照度設定について、具体的に解説する。
- 昼食休憩 (75 分) -
- 13:40 講演 4 . インクジェット記録によるモノクロプリントの画質と保存性能
セイコーエプソン株式会社 機器技術・開発統括センター 佐野 強
- 14:25 写真文化の継承と新たな写真文化創出のために、インクジェット記録によるモノクロプリント出力についてのキーテクノロジーを紹介し、最新のインクジェットプリンタによるモノクロプリントの画質性能とその画像保存性を解説する。
- 14:25 講演 5 . デジタル写真プリント材料の保存性試験方法及び最近の規格化動向
富士フイルム株式会社 アドバンスト マーケティング研究所 金沢幸彦
- 15:10 各種デジタルプリント材料が乱立し、保存性の寿命が競争要件として訴求される中、妥当な保存性試験方法はどうか、最近の国内外の規格はどうなりつつあるのかについて紹介する。
- 休憩 (10 分) -
- 15:20 講演 6 . 磁気テープへのデジタルデータの保管
富士フイルム株式会社 記録メディア事業部 商品技術部 長谷川文彦
- 16:05 デジタルデータを保存する市場ニーズと各種記録媒体の保存性に対する特徴や現状を説明する。特に磁気テープを保存媒体とするメリットや保存性の評価・研究結果の概説を行う。
- 16:05 講演 7 . 文書の電子化・保存とコダックにおける BPO ビジネスについて
コダック株式会社 ドキュメントイメージング アンド ビジネスプロセスサービス事業部 下嶋秀樹
- 16:50 コダックでは、古くからマイクロ写真に関連して文書管理のビジネスを行っており、現在では、倉庫と一体化したイメージングセンターを中心にした BPO (Business Process Outsourcing) ビジネスを展開している。文書・マイクロ写真の電子化・保存・利用を全般のワークフローについて紹介する。
- 16:50 閉会挨拶 日本写真学会会長

* 各講演時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、講演者および他の参加者の迷惑となりますので写真・ビデオの撮影、録音はご遠慮願います。

* 閉会后、講演者と参加者の自由な情報交換の場として懇親会（下記参照）を行います。奮ってご参加ください。

参加申し込みについて

セミナー参加費（講演要旨集代金を含みます）

日本写真学会および協賛学協会々員	6,000 円
非会員	8,000 円
学 生	2,000 円

（日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、以前と異なりますのでご注意願います。賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。）

定 員 180 名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

懇親会 講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の該当欄にその旨ご記入の上、会費をお送り下さい。

時間：当日 午後 5 時 30 分より

場所：恵比寿ガーデンプレイスタワー3階 カフェテリア・エスパシオ

会費： 3,000 円

申込締切 平成 19 年 10 月 12 日（金）

申込方法 郵便局備え付けの振替用紙をご利用になり、通信欄に「画像保存セミナー」とお書きのうえ、参加費区分（会員 / 非会員 / 学生）、勤務先、所属学協会名、懇親会参加の有無をお書き添え下さい。ご入金を確認し、参加証をお送り致します。また、懇親会に参加ご希望の方は会費も合わせお振り込み下さい。

写真学会、協賛学協会から配布するパンフレットに添付の振替用紙もご利用になれます。本年度より、日本写真学会ホームページ <http://www.spstj.org/> から参加申込ができるようになりました。トップページの「最新イベント情報」、あるいは左肩「イベント」よりお入り下さい。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。

なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、参加のご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

送り先 〒164-8678 東京都中野区本町 2 - 9 - 5 東京工芸大学内
(社) 日本写真学会 Tel. 03-3373-0724
郵便振替口座番号：00130-6-72818 Fax. 03-3299-5887

日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。
セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。

年会費： 一般会員 8,500 円 学生会員 3,000 円

社団法人 日本写真学会 事務局
〒164-8678 東京都中野区本町 2 - 9 - 5
東京工芸大学内

Tel. 03-3373-0724 Fax. 03-3299-5887

URL <http://www.spstj.org>

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

社団法人 日本写真学会

会 長：阿部隆夫 副会長：豊田堅二 山田元茂

画像保存セミナー実行委員会

委員長：吉田 成（東京工芸大学）

委 員：青木直和（千葉大学）

大西弘幸（セイコーエプソン）

河野純一（エニギマルテクノロジーセンター）

高橋則英（日本大学）

宮田公佳（国立歴史民俗博物館）

上田耕一郎（東京工芸大学）

金沢幸彦（富士フイルム）

杉本和俊（コダック）

原 正人（日本大学）

山口孝子（東京都写真美術館）